

中国のコメをめぐる基本的動向 —ジャポニカ米を中心として—

河原昌一郎
農林水産研究所

1

報告内容

- I 中国のコメ(概況)
- II 生産・需給
- III 価格
- IV 収益性・生産性
- V 施策

2

I 中国のコメ(概況)

3

中国の「食糧」の統計上の範囲

食糧・・・コメ、小麦、トウモロコシ、コウリヤン、アワ、その他の雑穀のほか、イモ類、豆類を含む。

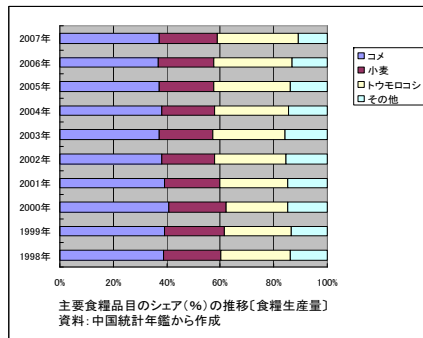
生産量はいずれも脱粒後のもので、コメの生産量はモミ米〔稻谷〕の重量。

イモ類は生鮮重量を5分の1にして食糧換算する。

〔中国統計年鑑の解説による。〕

4

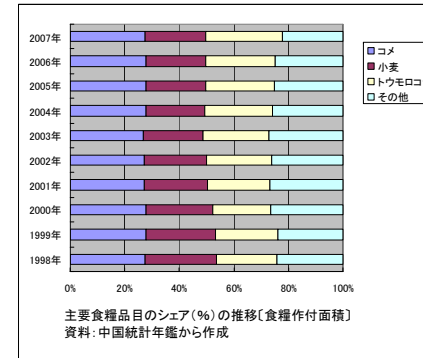
食糧生産におけるコメの地位(生産量)



- ・中国の食糧生産量のうち最大のシェアを有するのがコメ。
- ・おおむね40%弱をコメが占める。
- ・近年ではトウモロコシのシェアが徐々に拡大。2007年には30%を超える。

7

食糧生産におけるコメの地位(作付面積)



- ・食糧作付面積におけるシェアはコメは27%前後。
- ・トウモロコシの作付面積が増加しており、2007年にはコメを追い抜く。

6

中国で生産されるコメの種類

1 一般的分類

粒の形、質による分類。

「インディカ米」、「ジャポニカ米」、「モチ米」

中国では、これらのいずれも生産される。

* 中国で一般的に「インディカ米」または「ジャポニカ米」というときは、「モチ米」を含まない。

2 統計的分類(公表されるもの)

(1) 生産量

生育・収穫期による分類

「早稲」、「中稲・一期作晩稲」、「二期作晩稲」

これらの分類はそれぞれ「インディカ米」、「ジャポニカ米」および「モチ米」を含み、上記分類とは一致しない。

収穫期による生産量把握を重視。

(2) 生産費

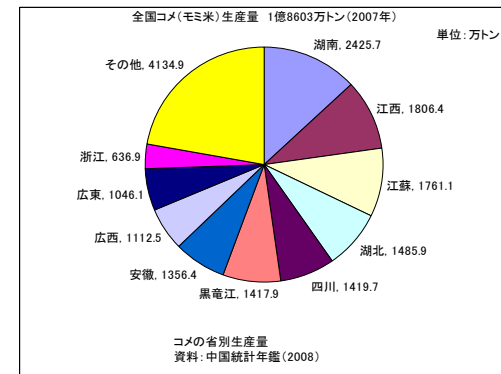
一般的分類と生育・収穫期による分類とを組み合わせる。

「早稲インディカ米」、「中稲インディカ米」、「晩稲インディカ米」、「ジャポニカ米」経営内容を重視。

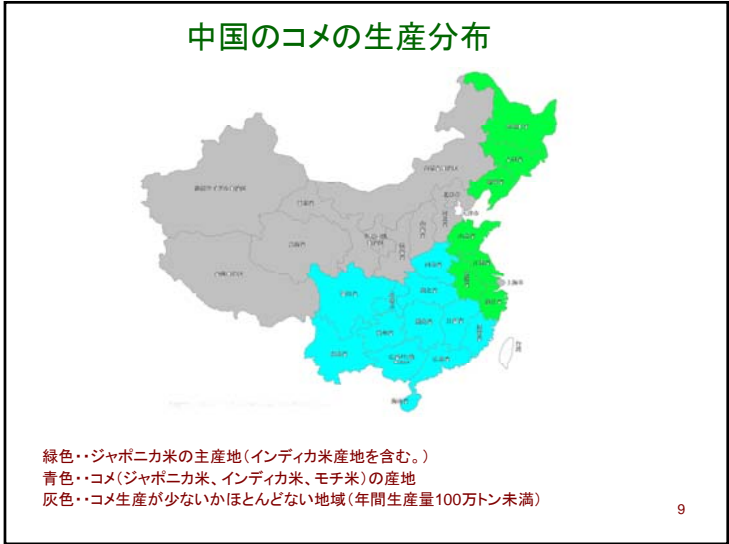
(3) その他

水稻、陸稲の別は統計上は現れない。

中国の主要コメ産地

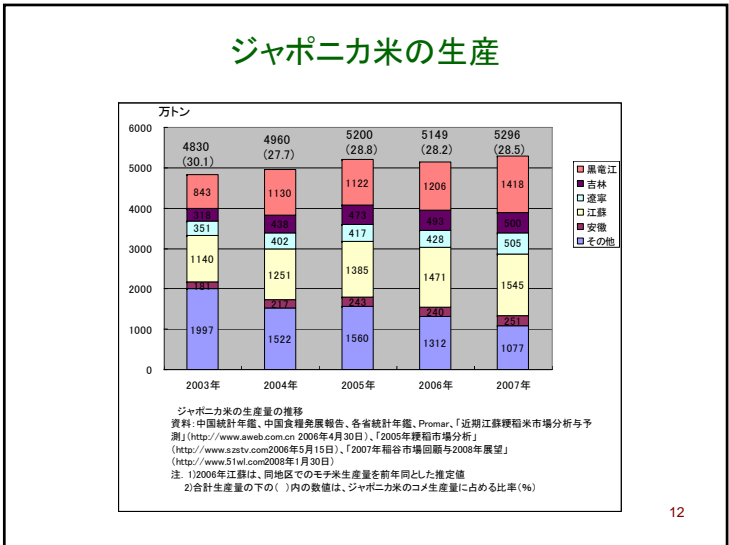
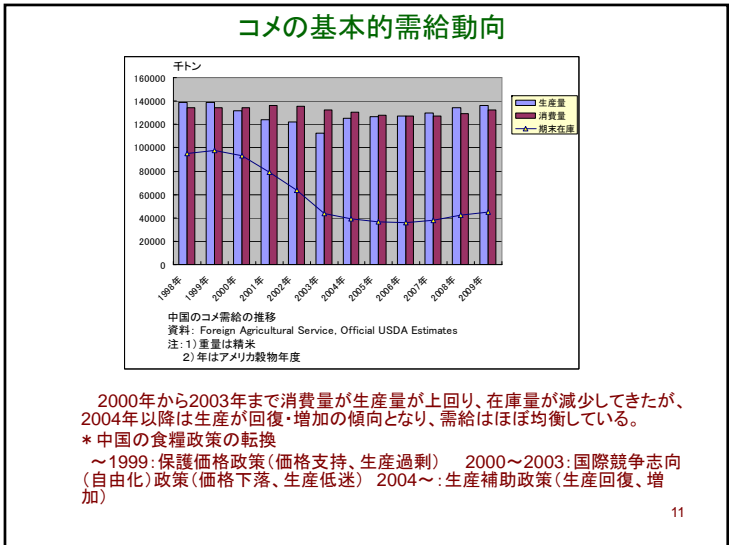


8

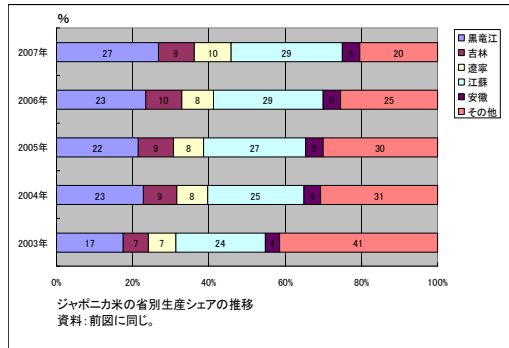


Ⅱ 生産・需給

10



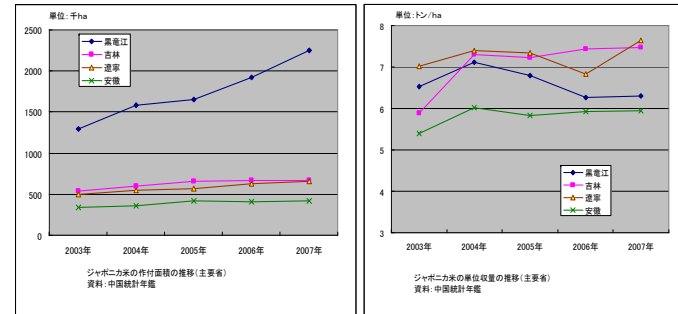
ジャポニカ米の生産シェア



ジャポニカ米の生産は北方産地と南方産地に集中

13

ジャポニカ米の作付面積、単位収量(主要省)



ジャポニカ米については品質が重視。単に高収量、高生産性が求められているわけではない。
生産量増加の主要因は作付面積の拡大。

14

コメの消費内訳

	2005/2006	2006/2007	2007/2008
総供給量	181,618	183,296	187,000
生産量	180,592	182,570	186,500
輸入量	126	726	500
総消費量	184,669	180,650	178,900
国内消費	183,250	178,900	177,850
食用消費	150,000	147,000	147,000
うち精米	103,500	101,430	101,430
モミヌカ	46,500	45,570	45,570
飼料用消費	15,000	15,000	14,000
工業消費	2,600	2,600	2,500
種子用	6,800	6,600	6,600
ロス	8,850	7,700	7,750
輸出入差	1,419	1,750	1,050
需給格差	-3,051	2,646	8,100

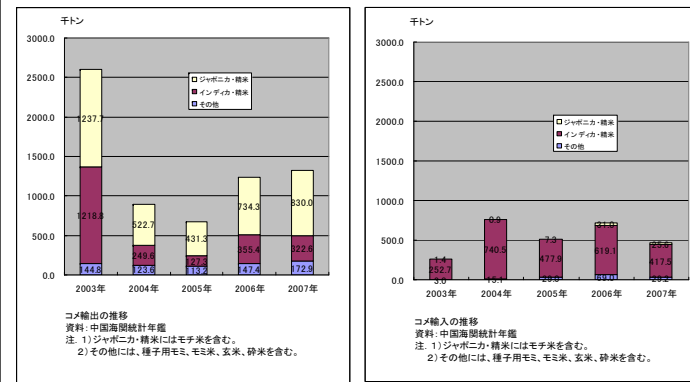
資料: 「2007年稲米市場分析」(http://www.ncgrain.gov.cn/2008年3月17日)

注: 年はコメ市場年度(10月一翌年9月)

ジャポニカ米の消費は食用消費、種子用、ロスだけであって、飼料用消費、工業消費はない。
(「2005年粳稻市場分析」 http://www.szstv.com/ 2006年5月15日)

15

コメの輸出入量



16

主要輸出入先国

主要輸出入先国(2007年)
(インディカ・精米)

	数量(千トン)	(%)	金額(千ドル)	(%)
コートジボワール	141.2	43.8	41335	43.2
キューバ	73.2	22.7	20433	21.4
ナイジェリア	36.5	11.3	10935	11.4
南アフリカ	10.3	3.2	3248	3.4
その他	61.4	19.0	19699	20.6
計	322.6	100.0	95650	100.0

	数量(千トン)	(%)	金額(千ドル)	(%)
コートジボワール	164.2	19.8	37359	12.9
ブルキナファソ	133.6	16.1	49257	17.1
リベリア	130.6	15.7	28888	10.0
パプアニューギニア	115.2	13.9	40631	14.1
北朝鮮	80.7	9.7	25745	8.9
日本	68.2	8.2	50337	17.4
香港	23.7	2.9	10416	3.6
韓国	23.0	2.8	11998	4.2
その他	91.0	11.0	34071	11.8
計	830.0	100.0	288702	100.0

資料:中国海関統計年鑑
注:ジャボニカ・精米にはモチ米が含まれる。

主要輸入先国(2007年)
(インディカ・精米)

	数量(千トン)	(%)	金額(千ドル)	(%)
タイ	412.3	98.7	198422	99.2
ベトナム	4.9	1.2	1314	0.7
その他	0.4	0.1	296	0.1
計	417.5	100.0	200032	100.0

	数量(千トン)	(%)	金額(千ドル)	(%)
ベトナム	22.5	87.9	5897	76.1
その他	3.1	12.1	1855	23.9
計	25.6	100.0	7752	100.0

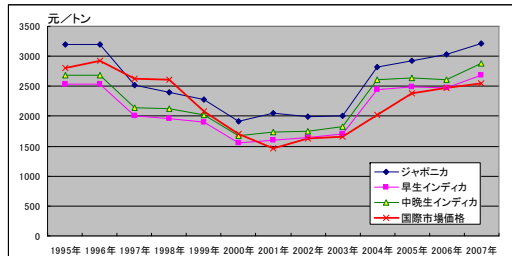
資料:中国海関統計年鑑
注:ジャボニカ・精米にはモチ米が含まれる。

17

Ⅲ 価格

18

コメ価格の推移(各年)



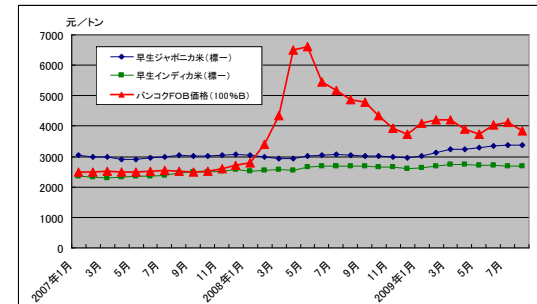
中国のコメ価格の推移

資料:中国農業発展報告、中国統計年鑑

注:1) 国内価格は全国平均価格。
2) 国際市場価格はバンコクFOB価格(100%B級)。ドル表示を各年の為替レートで元に換算した。

19

最近のコメ価格の推移(各月)



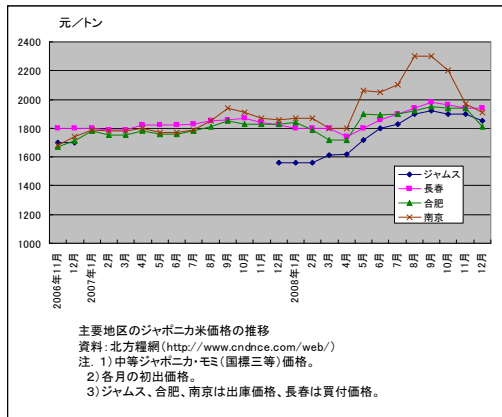
コメ価格の月別推移

資料:中国郵州食糧卸売市場ホームページ(<http://www.czgm.com/>)、Rice Outlook-Table6 (<http://usda.namlib.comell.edu/usda/current/RCS/RCS-08-13-2008.pdf>)、Pacific Exchange Rate Service (<http://fx.sauderubc.ca/data.html>)

注:1) 早生ジャボニカ米、早生インディカ米は中国郵州食糧卸売市場取引価格(貨車積込時価格)。
2) バンコクFOB価格はドル表示を各月の為替レートで元に換算した。

20

主要地区のジャポニカ米の価格



21

IV 収益性・生産性

22

コメの収益性

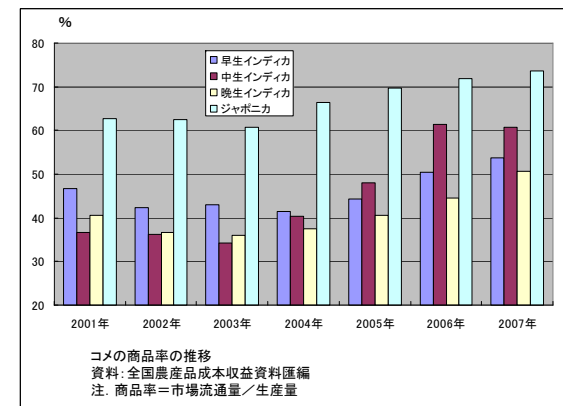
コメの収益性		単位:元・kg/ムー						
		2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
早生インディカ	粗収益	372.1	365.3	400.7	617.6	561.4	597.0	663.6
	総費用	365.3	376.0	377.0	432.2	463.3	488.6	522.3
	所得	172.5	163.0	205.1	387.5	313.4	333.0	373.1
	純収益	6.8	-10.8	23.8	184.4	98.1	108.4	141.3
	生産量	374.8	364.4	370.5	393.4	375.5	387.0	400.6
中生インディカ	粗収益	493.8	474.6	493.8	779.2	702.1	670.6	808.7
	総費用	415.9	435.6	442.5	445.7	468.2	469.4	507.2
	所得	296.1	257.9	282.6	548.5	473.7	434.2	546.0
	純収益	77.9	39.0	51.3	353.4	233.9	201.2	301.4
	生産量	468.0	484.3	426.9	505.6	482.0	444.1	451.3
晩生インディカ	粗収益	430.4	394.1	502.2	670.5	599.1	669.1	748.5
	総費用	353.6	365.6	373.7	437.7	468.6	489.0	519.2
	所得	239.0	201.0	299.4	428.6	342.7	396.6	455.2
	純収益	76.9	28.5	128.6	232.9	130.5	180.1	229.3
	生産量	388.0	370.4	378.8	397.7	379.7	399.6	405.1
ジャポニカ	粗収益	631.1	579.5	659.1	891.6	881.4	945.8	916.4
	総費用	464.1	480.5	479.4	501.8	572.9	625.8	671.8
	所得	355.8	293.8	376.9	574.4	518.3	560.2	500.7
	純収益	167.0	99.0	179.7	389.8	308.5	319.9	244.7
	生産量	477.8	482.4	459.0	507.0	486.6	514.5	513.9

資料：全国農産品コスト収益資料匯編
注：1) 粗収益には副産物収入を含む。
2) 生産量は主産物のみのもの
3) 所得＝粗収益－(総費用－家族労働費－自作地代)

- ・2004年から収益性が改善
- ・総費用は一貫して増加。特にジャポニカ米(化学肥料費、農業機械費等)。

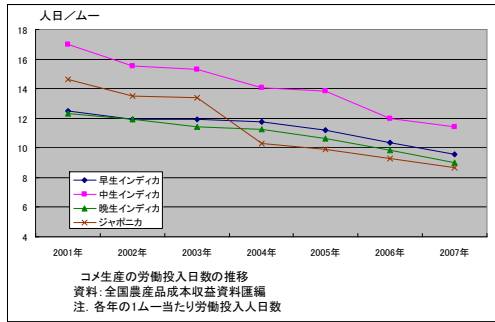
23

コメの商品率



24

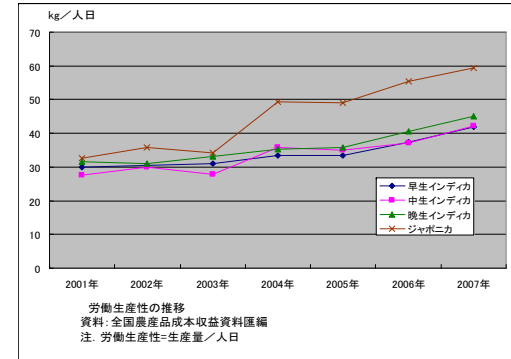
コメ生産の労働投入量



- ・ジャポニカ米の労働投入量の減少が顕著
- ・機械化の進んだ黒竜江省での生産拡大等を反映

25

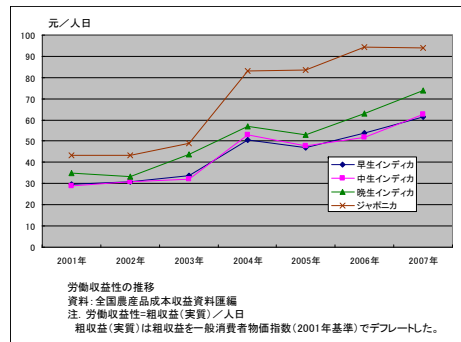
労働生産性の推移



- ・2004年は黒竜江省等の東北三省でのジャポニカ米生産が大きく拡大した年

26

労働収益性の推移



- ・2004年は労働収益性が向上。ジャポニカ米は労働生産性向上も反映。

27

省別のジャポニカ米収益性

省別ジャポニカ米収益性

2005-07年平均(1ムー当たり)

	浙江	江蘇	安徽	遼寧	吉林	黒竜江
粗収益(元)	877.8	952.4	720.6	1047.0	917.8	835.2
総費用(元)	564.4	627.2	536.0	736.2	600.3	579.6
所得(元)	483.1	530.8	411.4	623.1	580.6	426.1
純収益(元)	313.4	325.3	184.5	310.9	317.5	255.6
生産量(kg)	468.1	529.6	439.6	540.5	500.4	490.7
労働投入量(人日)	6.1	8.2	10.8	9.3	7.7	6.2
商品率(%)	55.7	55.8	87.8	84.7	79.5	93.5

資料: 全国農産品コスト収益資料編

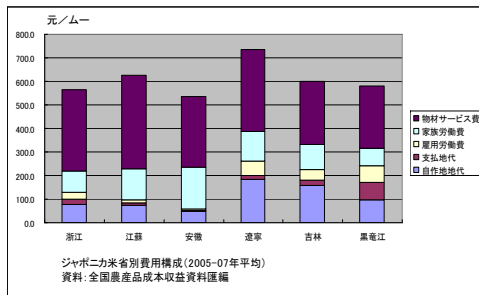
注: 1) 粗収益には副産物収入を含む。

2) 所得=粗収益-(総費用-家族労働費-自作地地代)

- ・粗収益が高いのは遼寧省と江蘇省。ただし、総費用も高い。
- ・商品率は北方産地で高い。
- ・浙江省と黒竜江省の労働投入量は小さい。

28

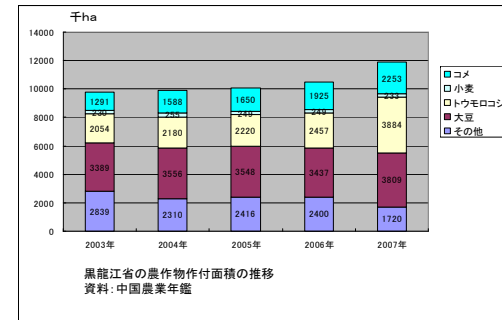
ジャポニカ米の費用構成



- ・家族労働費は黒竜江省、浙江省で少ない。
- ・東北三省は雇用労働費、支払地代が多い。特に黒竜江省。

29

黒竜江省の農作物作付面積の推移



- ・小麦は1980年代には300万ha以上の作付があったが、近年は20数万haに減少。
- ・コメ、トウモロコシ、大豆はいずれも作付が拡大。水田開墾は三江平原、松嫩平原等。

30

黒竜江省の主要作物の収益性

黒竜江省の主要作物の収益性

2005-07年の3カ年平均(1ムー当たり)

	コメ	小麦	トウモロコシ	大豆
粗収益(元)	835.2	337.7	461.1	355.1
総費用(元)	579.6	287.3	327.9	274.0
所得(元)	426.1	107.7	281.6	201.4
純収益(元)	255.6	50.3	133.2	81.2
労働投入量(人日)	6.2	1.9	4.4	3.0
商品率(%)	93.5	95.5	90.4	96.3
労働生産性(元)	136.7	176.3	106.2	120.2

資料: 全国農産品コスト収益資料匯編

注: 1) 粗収益には副産物収入を含む。

2) 所得=粗収益-(総費用-家族労働費-自作地代)

3) 労働生産性=粗収益/労働投入量

31

V 施策

32

中国の農業予算

2009年農業関係予算(中央財政)

項目	予算額(億元)	備考
中央政府支出額	14,976.00	前年比12%増。地方財政支出は61,259億元を含めた全国財政支出は76,235億元。
“三農”支出	7,161.40	20.2%増。
(1) 農林水事務支出	3,446.59	27.5%増。
うち① 農民四種補助	1,230.80	19.4%増。
i) 食糧直接補助	190.00	
ii) 農業資材総合補助	756.00	5.6%増。
iii) 優良品種補助	154.80	25.4%増。
iv) 農機具購入補助	130.00	前年の3.25倍に増加。
② 貧困者扶助	197.30	17.9%増。
③ 現代農業生産発展資金	65.00	20.4%増。
(4) 農業総合開発資金	147.00	15.7%増。
(5) 農業保険料補助	79.80	31.9%増。
(6) 農業基礎施設建設	1,295.10	
(2) 糧油物資貯蔵等事務支出	1,780.45	61.1%増。
うち① 食糧直接補助	190.00	農民四種補助の食糧直接補助と重複
② 重要物資貯蔵	783.41	
③ 家電農村販売補助	200.00	前年の10倍に増加。
④ 小型トラック購入補助	50.00	
⑤ 農村物流建設	74.00	
(3) 社会保険・就業支出	3,350.89	22.1%増。
うち① 農村五保戸等補助	100.00	
② 就業資金	420.20	66.7%増。

資料:「2008年中央・地方予算執行状況および2009年中央・地方予算案に関する報告」(2009年3月5日第11期全人代第2回会議)から作成
注:“三農”支出の全内訳が示されておらず、各項目の合計額は“三農”支出額に一致しない。

33

中国の食糧長期計画

2010年、2020年国家食糧安全保障主要指標

類別	指標	2007年	2010年	2020年	属性
生産水準	耕地面積(億ムー)	18.26	≥18.0	≥18.0	拘束性
	うち食糧用耕地面積	11.2	>11.0	>11.0	予測性
	食糧播種面積	15.86	15.8	15.8	拘束性
	うち穀物	12.88	12.7	12.6	予測性
	食糧単収水準(kg/ムー)	316.2	325	350	予測性
	食糧総合生産能力(億kg)	5016	≥5000	>5400	拘束性
供給水準	うち穀物	4563	≥4500	>4750	拘束性
	油糧播種面積(億ムー)	1.7	1.8	1.8	予測性
	牧草地保有量(億ムー)	39.3	39.2	39.2	予測性
	肉類総生産量(万吨)	6800	7140	7800	予測性
	家禽卵生産量(万吨)	2526	2590	2800	予測性
	牛乳生産量(万吨)	3509	4410	6700	予測性
物流水準	国内食糧生産自給率(%)	98	≥95	≥95	予測性
	うち穀物	106	100	100	予測性
	食糧物流“四散化”比率(%)	20	30	55	予測性
	食糧流通環節損耗率(%)	8	6	3	予測性

資料:国家食糧安全中長期計画綱要(2008-2020年)

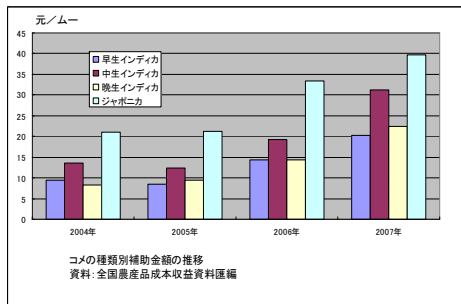
原注:2007年の生産量は統計局の最終発表による。

注:“四散化”とは荷積み、積み卸し、貯蔵、輸送を麻袋を使わずバラで行うこと

* 2009年11月に國務院弁公庁から公表された「全国新增5000万吨食糧生産能力計画」では、2020年の食糧生産量を5億5千万トン以上に見込む。主要な方策は灌漑、土地改良、品種改良、二毛作推進、技術普及、機械化等。

34

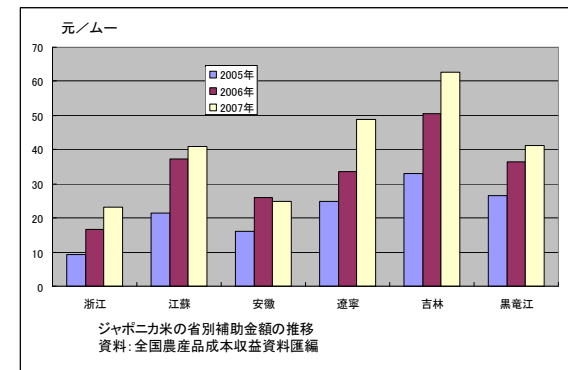
生産補助金(コメの種類別)



・中央政府の補助は食糧主産地(黒竜江、吉林、遼寧、内蒙古、河北、山東、河南、四川、安徽、江蘇、湖北、湖南、江西)を中心に実施。

35

生産補助金(ジャポニカ米・省別)



36

最低買付価格制度(価格)

・根拠規定

2004年3月 国務院「食糧生産を把握して食糧市場供給業務を遂行することに関する緊急通知」

2004年5月 「食糧流通管理条例」第28条

国家最低買付価格の推移

モミ米(国標三等)、元/斤

	早生イン ディカ	中・晩生イン ディカ	ジャポニカ
2004年3月	0.70	-	-
2004年4月、6月	同上	0.72	0.75
2005-07年	同上	同上	同上
2008年2月	0.75	0.76	0.79
同年3月	0.77	0.79	0.82
2009年1月	0.90	0.92	0.95

資料: 中国糧食市場発展報告2009、国家發展改革委ホームページ

37

最低買付価格制度(実施状況)

コメ(モミ米)の最低買付価格政策の実施範囲

2004-07年	吉林、黒竜江、安徽、江西、湖北、湖南、四川
2008年	吉林、黒竜江、安徽、江西、湖北、湖南、四川、遼寧、江蘇、河南、広西

資料: 中国糧食市場発展報告2009

最低買付価格政策による買付実績

	早生イン ディカ	中・晩生イン ディカ	ジャポニカ
2005年	91億斤 (455万トン)	166億斤 (830万トン)	0
2006年	73億斤 (365万トン)	92億斤 (460万トン)	0
2007年	0	0	47億斤 (235万トン)
2008年	0	0	0

資料: 中国糧食市場発展報告2009

注: 2007年ジャポニカは、2008年4月30日までに買い付けられたものを含む。

38

コメ新品種開発

最近のコメ新品種開発例

	新品種名	開発年	開発組織	特色
黒龍江省	竜稈14号	2005年	黒龍江省農科院 水稻研究所	イモ子病耐性、耐寒性、高収量
黒龍江省	竜稈16号	2006年	黒龍江省農科院 水稻研究所	同上
天津市	津稻291	2004年	天津農学院	イモ子病耐性、耐アルカリ性、食味良
江蘇省	武陵稈1号	2009年	江蘇省種子站連 合	江蘇省で広く普及している武 育稈3号に緑葉枯病の耐性 を付与
安徽省	新協57(イン ディカ)	2006年	安徽省農科院水 稻研究所	白葉枯病耐性、イモ子病耐 性、食味良、高収量

資料: 揚州市種子管理站ホームページ (<http://www.yzseed.com/main/>)、農博網 (<http://seed.aweb.com.cn/>)、中華粮網 (<http://www.cngrain.com/>)、農民日報(2006年7月11日)

注: 開発年は各省市の品種審査委員会での承認を得た年。

参考

吉林省の奨励品種

吉稈88、吉稈83、秋田小町、金波301

資料: 「2007年吉林品种布局与定向」(吉林种业信息 <http://www.aweb.com.cn>)

注: 晩生地区における品種。

39

ジャポニカ米産地と消費地との連携

○黒竜江省と浙江省との提携

・両省は2000年から産地消費地間協力を実施

・2009年に「食糧産消協力協議書」を締結

浙江省は黒竜江省に5万ムーの食糧生産基地(1カ所)およびコメ加工基地(1カ所)を設立

黒竜江省は浙江省に食糧備蓄販売基地(1カ所)を設立

・「政府推進、部門協力、市場メカニズム、企業運営」という原則で協力を拡大

○「関内企業2008年産東北米入関輸送費補助財務管理方法」(2008年10月22日財政部、国家發展改革委、国家糧食局、中国農業發展銀行)

・東北三省以外の地区の企業が東北三省で生産されたコメを購入するときに一定の輸送費を補助

要件 ①1企業による5000トン以上のコメの購入

②最低買付価格より高い価格での購入

③2008年11月1日から2009年4月30日までになされる輸送

・補助額

黒竜江省: 鉄道輸送 0.06元/kg

その他の輸送 500km以上の輸送 0.14元/kg 500kmに満たない輸送 0.07元/kg

吉林省: 鉄道輸送 0.03元/kg

その他の輸送 500km以上の輸送 0.08元/kg 500kmに満たない輸送 0.04元/kg

遼寧省: 鉄道輸送 0.015元/kg

その他の輸送 500km以上の輸送 0.065元/kg 500kmに満たない輸送 0.0325元/kg

(参考1) 蘇州市の黒竜江省での生産基地



41

(参考2) 金華市群飛糧油機械化專業合作社

- ・2004年11月設立
- ・2008年現在
- 社員: 107人
- 社員耕地面積: 287ha
- 機械サービス面積: 1506ha
- 機械耕起面積: 427ha
- 機械收穫面積: 534ha
- 機械田植え面積: 280ha
- 統一防除面積: 267ha



42



44

